

Creative Leadership Workshop

VISION QUEST **ご提案書**

公益財団法人 日本生産性本部

はじめに

このたびは、新卒入社4年目のデザイナー 研修に関して、ご提案の機会をいただきありがとうございます。

Creative Leadership Workshop の企画をとりまとめました。

副題は「VISION QUEST」といたしました。

本WSの特徴は、**非日常空間での気づき**（自己観照）をもとに、それぞれの**心のスイッチ**（独自能力を磨きチームに貢献していく源）を探究し、**実践につなげていく**点にあります。

ご検討のほどよろしく申し上げます。

- ワークショップの全体像
- ストーリーライン案（1泊2日）
- 進行の特徴
- 当日実施するゲームなどの候補
- 招待状のイメージ
- 実施までの準備スケジュール
- 施設候補
- 担当ファシリテーター



2021年9月

主席経営コンサルタント 寺 沢 俊 哉

* VISION QUEST とは、本来はネイティブアメリカンの成人の儀式。その後の人生の使命を自分で見つけるために行われ、数日間～数ヶ月かけて自然の中で自分自身をむきあうものです。

ワークショップの全体像

●タイトル(副題)

Creative Leadership Workshop

～ VISION QUEST ～

気づき > 心のスイッチ > 実践

●根拠(開催の趣旨)

シニアデザイナーへのステップアップに向けて、

・自己を振り返り、成長マインドを醸成し、モチベーションアップにつなげる

・中堅社員として、組織の中で果たす役割を自覚し Creative Leadershipの向上を図る

●参加者・ビフォー(知識・技術・やる気)

・事前「経過報告会」にて一度振り返りを実施済

・コロナ環境で、お互いのコミュニケーション(一体感)が不足しがち(もやもや...悩み...)

--- 探究すべきテーマを提供 Creative ---
【INPUT】

デザイン本部としてのテーマ(お題)

チームとして取り組んでもらいたいもの

●アフター(こうなって欲しい)

①失敗を恐れず、困難な場面でも乗り越えて行こうという前向きなマインドになる

②目標達成に向けてチームを動かす Creative Leadershipを学び、行動変容につながる気づきを得る

--- プロとしての何らかの成果品 Creative ---
【OUTPUT】

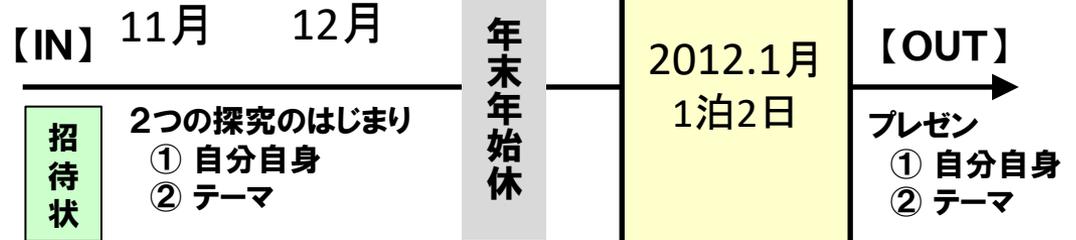
チームとして、かつ、1人ひとりとして、何らかの成果品をまとめプレゼンする

●環境(1泊2日 オフサイト)

2022年1月実施

別添資料参照(P9)

●ストーリーライン(詳細別途)



ストーリーライン案(1泊2日)

	1日目	参加者の気持ち	2日目	参加者の気持ち
A M	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション & アイスブレイク 【自分自身の探究】 ○振る舞いと言葉について探究する ○自己中モードと集中モード ○非言語での対話 	<p>これから楽しいことがはじまる予感が、</p> <p>イメージを伝えあうことの難しさと大切さ</p> <p>お互いの世界観を共有できる実感~そのスキルも習得できた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1日目のふりかえり ○価値観型とビジョン型 ○個人のビジョンを輝かせる「未来日記」 【チームテーマの探究】 ○探究テーマ(個人) 	<p>自分のことをふりかえることができた (様々な気づき)</p> <p>チームワークの大切さを実感した</p> <p>お互いの夢を理解できた → どうやって重ね合わせるか?</p>
P M	<ul style="list-style-type: none"> ○心のスイッチを探る 人生の振り返り ○オプションプログラム (現地資源を活用) 	<p>自分自身の「大切なこと」を再認識できた 仲間のスイッチも理解</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究テーマ(グループ) ワールドカフェ (発散・アイデア出し) グループワーク ○プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・グループ ・個人 宣言と承認 	 
夜	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼関係の構築 (合議ゲーム) ○懇親会 	<p>自らの考え方のくせがわかった(強み/改善)</p> <p>相手に価値をもたらすことの大切さ</p>		

* 進行の詳細は別途ご相談するとして、大きな流れは はじめに「自分自身の探究」その延長線に「チームテーマの探究」を重ねるという進行を考えました(まずは、自分が源泉で)



進行の特徴



Creative Leadership Workshop 副題「VISION QUEST」では、

- 非日常空間での**気づき**（自己観照）をもとに ～ゲーム等を通じて体感します
- それぞれの**心のスイッチ**（独自能力を磨きチームに貢献していく源）を探究し
- 実践**につなげていきます（後半、**デザイン本部のテーマ**をチームとして提案）



本当に価値ある仕事って？

仲間のビジョンが理解できた



楽しくエキサイティングな研修は初めてだった！

納得のいく対話ができる



Creative Leadership Workshop
～ VISION QUEST ～
気づき > 心のスイッチ > 実践

当日実施するゲームなどの候補

プログラムを、具体的に構成するのは、講義とゲーム（実習形式）です。
講義形式は、オリエンテーションなど全体の30%程度。残りは、心理学の理論を活用したゲーム（実習形式）です。

ゲームは、短いもので15分（アイスブレイク）、長いもので120分程度のものがあり、それらを組み合わせることによって、最適の対話の場を構成します。

(分野)	個人ワーク	ペアワーク	グループワーク	実践
自己開示・自己理解	● 自分史	● ダイアード	● ゲームの理論	
共感力・他者理解	● ポジションチェンジ	● ペーシング	● 協力ゲーム	
お客様思考	● 未来日記	● タイムマシン	● 未来新聞	
ビジョン思考	●	●	● マインドマップ	
論理思考	● フィッシュボール	● ソリューションフォーカス	● ケーススタディー	
対話の場づくり	●	● イノベーションゲーム	●	● 意思決定ゲーム
課題解決			●	
リーダーシップ	●	●	● プレゼンテーション	

招待状のイメージ

部署 ○○ 氏名 ○○○○ 様

発信者: ○○ ○○

「Creative Leadership Workshop VISION QUEST」へのお誘い

この度、下記に示す対象者に対して、2日のワークショップを実施ます。

開催の趣旨は、……

とくに、○○さんには、…… といった面でのリーダーシップを期待しております。

お忙しいところとは思いますが、事前課題をご検討の上、当日ご参加いただければと思います。 …(以下続く)

- 【事前課題1】 キャリアエネルギーグラフ
- 【事前課題2】 未来日記
- 【事前課題3】 デザイン本部のテーマ



年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2022												
2023												
2024												
2025												
2026												
2027												
2028												
2029												
2030												

実施までの準備スケジュール

ステップ		日 程 案
1	企画書ご提案	9月
2	ご契約	9月
3	ヒアリング	9～10月
4	お打ち合わせ	9～10月
5	ワークショップの方針決定	11月
6	招待状の決定・発送 (事前課題とりくみ)	11月
7	当日テキスト原稿 他準備物決定	1月頭
8	当日実施	1月平日2日間

同時に、会場選定やオプションプログラム（現地資源を活用）を企画し準備。

施設候補

- ・和歌山県白浜市ワーケーションサイト

<https://wave.pref.wakayama.lg.jp/020400/workation/index.html>

- ・徳島県神山町 NPO法人グリーンバレー

<https://www.in-kamiyama.jp/author/greenvalley/>

- ・神山町 紹介サイト

https://www.iju-join.jp/feature_cont/introduction/002/02.html

- ・佐賀 嬉野温泉 温泉ワーケーション

<https://onsen-workation.jp/>

- ・鎌倉みらいラボ

<https://kamakura-mirai-lab.com/>





担当ファシリテーター

寺沢俊哉

公益財団法人日本生産性本部 主席経営コンサルタント

大手流通系企業を経て、1989年、公益財団法人日本生産性本部にコンサルタント給費生として最年少で入社。以来、経営コンサルタントとして30年にわたり、上場企業から中堅企業まで約200社の経営コンサルティング、数万人の研修を実施。コンサルティングと研修を融合させた、独自のワークショップは、参加者自身の課題を題材に進めるため実践的であり、リピート率は8割を超える。研修テーマは、リーダーシップ、ファシリテーション、プレゼンテーション、講師養成など。1998年以降、卓越した企業を表彰する「日本経営品質賞」の審査員として、その後、埼玉県・徳島県経営品質賞判定委員として、経営品質の普及推進活動に従事している。2015年より、「人前で教える技術」を磨きあう、「ライブ講師®実践会」を主催。数多くの講師、コンサル、ビジネスリーダーが参加し、ともに学びを続けている。



対話で学ぶ経営品質
(生産性出版)



感動の会議！
(ディスカヴァー21)



プロ研修講師の
教える技術
(ディスカヴァー21)



人材育成
(中央経済社)



人前で話す・
教える技術
(生産性出版)